

事業者	チェック項目	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	同じ室内で、空間を分けられるような工夫が場合によっては必要である。	5	0	1
	2 職員の配置数は適切であるか	常勤を4名、非常勤2名配置した。保育士は2名、児童指導員は3名、専門性に配慮している。	6	0	0
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	車いすのスロープやバリアフリーの環境は、ととのっている。	6	0	0
	4 業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	毎週定例会議を開き、職員全員での話し合いを行っている。午前中の時間も活用しているが、非常勤職員の参加が一部出来にくい状況がある。会議録などを見て共通理解に務めている。	5	1	0
	5 保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の意見に真摯に耳を傾けている。職員間で共通理解に務めている。	6	0	0
業務改善	6 この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	毎年ホームページに掲載している。また、はなみずき玄関に結果を貼付している。	6	0	0
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価については今後検討していく。	5	1	0
	8 職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	県や市からご案内頂いた研修にはほぼ必ず1名は参加している。内部研修も必要に応じ実施している。	6	1	0
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	利用開始時には必ずアセスメントを行って、個別支援計画書作成に活かしている。	6	0	0
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしているか。	統一したアセスメントツールはある。毎年朱を入れ、見直し個別支援計画を作成している。	6	1	0
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	制作・集団あそび・おやつ作りのメイン担当を決めている。毎週活動プログラムの立案と実施に当たっての準備を行っている。	6	0	0
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	毎週、活動計画表を配布し、固定化しないように気をつけている。	6	0	0
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか。	活動のスケジュール化を図っている。	5	1	0
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	個別活動と集団活動(活動プログラム)をスケジュール化し、日々組み合わせている。また、室内、室外の活動をバランスよく取り組んでいる。個別活動への職員の関わり方(支援、声かけ、見守り)については組織的かつ計画的にその方法を決定し、職員全員に周知する必要があると感じている。	6	0	0

適切な支援の提供	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	毎日ミーティングを行い、参加できなかった職員には業務日誌等で確認してもらっている。その日の現場状況により役割分担を行っている。長期休暇時の開始前打合せは時間的な制約があって難しいのが現状である。ボードなどを活用し、共通理解を図っていく必要がある。	5	1	0
	16	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	送迎後、常勤職員で話し合っている。その日に出来無い時、翌日に必ず行っている。非常勤職員には後日、連絡して共有化を図っている。	5	1	0
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用者一人ひとりの活動記録を、その日関わった職員全員で記録し、情報共有できる体制は出来ている。	6	0	0
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヶ月に1回は実施し、見直しを行っている。	6	0	0
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	厚労省のガイドラインに示されている基本活動を指針として、活動プログラムを作成している。	6	0	0
関係機関や保護者との連携	20	相談支援事業所の担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか	担当者会議の日程は、相談支援員と調整し、相応しい者が参画している。	6	0	0
	21	学校との情報共有(行事予定、下校時刻)連絡調整(送迎時の対等等)を適切に行っているか	学校情報は、学校から電話をいただいたり、プリント等で情報を共有できている。また、保護者とも適時行っている。さらに学校に送迎にうかがった時には、出来る限り教師とお話する時間を取って、情報共有を図っている。	5	1	0
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れ場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	今のところ、医療的ケアが必要な子どもはいないが今後そのような状態になった時に連携を図っていきたい。	2	4	0
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	職員に尋ねたり、資料等をいただいたりしている。	1	5	0
	24	学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	事業所の要求があれば、今後はそのように努めたい。	3	3	0
	25	専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	利用者によっては必要な助言を受けている。関係機関と連携を図っていきたい。	5	1	0
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	平素交流する時間は取りにくいですが、行事等の時に出来るだけ交流を図っている。その他買物体験やおでかけ体験等の活動を通じて、間接的に障害のない子どもと触れ合う機会を作っている。	1	3	2
	27	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	案内があれば参加している。	2	3	1
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	子どもの状況を必要に応じて伝え合っている。また連絡ノート、送迎時の面談等で情報共有を図る仕組みもできている。今後は課題とその解決方法を共有する意識をもって情報共有を図っていきたい。	6	0	0
	29	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか	ペアレントトレーニングの講習への参加をしている。機会があれば職員全員が受けられると良い。	5	1	0

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	利用契約の締結時には、利用規約、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や上限管理の仕組みと利用方法、利用のしおりを用いた具体的な利用方法まで丁寧に説明を行っている。	6	0	0
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	相談頂ければ全て真摯に対応している。担当者一人では適切な助言が出来ない場合は、事業所として適切な回答を模索した上でアドバイスをしている。	6	0	0
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	ふれあいの日が今年度も出来なかったもので、感染症が落ち着けば、より多くの人に参加出来るように努力したい。	2	3	1
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情はほとんどないが、あれば迅速かつ適切を旨として苦情対応にあたっていきたい。	6	0	0
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	毎月はなみずきだよりを配布、ホームページにてブログの更新を月1回行っている。	6	0	0
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報に記載されている文書は鍵付きのロッカーで保管し、それら文書の廃棄にはシュレッターを使うなど、個人情報取扱には注意している。通信で写真を掲載することもあるが、事前に承諾を頂いている。	6	0	0
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	配慮している。	6	0	0
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	地域の組織には加入している。行事への参加の呼びかけはあまりできていない。地域の行事には、出来るだけ参加したい。	1	3	2
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者に対しては十分周知できていない面もある。災害時の対応についてのパンフレットを配布した。今後も機会あるごとに丁寧に説明していきたい。	6	0	0
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回訓練を行っている。(地震や火事を想定して)	6	0	0
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修会があれば参加している。内容については事後みんなで研修している。また、そのような事例を情報として聞き出したときにも研修し注意喚起している。	6	0	0
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	虐待の研修で毎回確認している。身体拘束の必要がある場合のマニュアルを作成した。保護者に十分説明していきたい。	4	2	0
	42	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者の申告に基づいて対応している。	2	4	0
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	いつでも見れるように分かりやすい場所にファイルを置き、共有している。	6	0	0